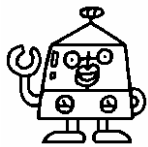


小 / 理科 / 5年 / 生物と環境 /  
植物の発芽と成長 / 理解シート

## インゲンマメとトウモロコシの発芽のちがいは、何なの



インゲンマメは、たねの養分がふくまれたふた葉が出るが、トウモロコシは養分がふくまれていない細長い葉が出るね。

発芽後、ふた葉が出るかどうか、ちがう

水につけてやわらかくしたインゲンマメとトウモロコシのたねを、切ってみましょう。インゲンマメは、養分がふくまれた部分と、根やくき、葉になる部分わかります。トウモロコシは、根、くき、葉になる部分がたねの中にうまっていて、そのまわりに養分がふくまれた部分があります。

これを発芽させると、図のように、インゲンマメは養分がふくまれた部分が、緑色の厚いふた葉になります。ふた葉の間から本葉が出て、やがて、ふた葉の養分が使いはたされ、しぼんでなくなります。

トウモロコシは根が出た後で細長い葉がのびてきます。たねの養分がふくまれた部分は土の中に残ったまま、養分が使いはたされるとしぼんでなくなります。

たねの発芽は、たいていインゲンマメかトウモロコシのどちらかのタイプになる

カボチャのたねは、インゲンマメと同じように、養分のふくまれた部分がふた葉で出てきます。コメ、麦などはトウモロコシと同じように細長い葉が出、養分のふくまれた部分は土中に残ります。ほとんどのたねの発芽は、このどちらかに分類されます。

